

かねつぐ

兼続地区

(新潟県南魚沼市)

- 計画期間 平成20年度～平成24年度
- 面積 600ha
- 交付対象事業費 257.6百万円
- 市人口 54,332人

ポイント 大河ドラマ「天地人」の放映を好機としてとらえ、効果的な都市再生整備計画により地域活性化と定住促進を図る。

地区概要 駅前と史跡を結ぶ周遊ルートを設置し、観光客がまちなかを散策して楽しめる仕組みと、住民が快適に暮らせる雪国都市を目指す。

目標 地域の歴史資源や自然景観を活用した文化交流型のまちづくりと、官民共同による雪に強く安全安心で快適な雪国都市を目指す。

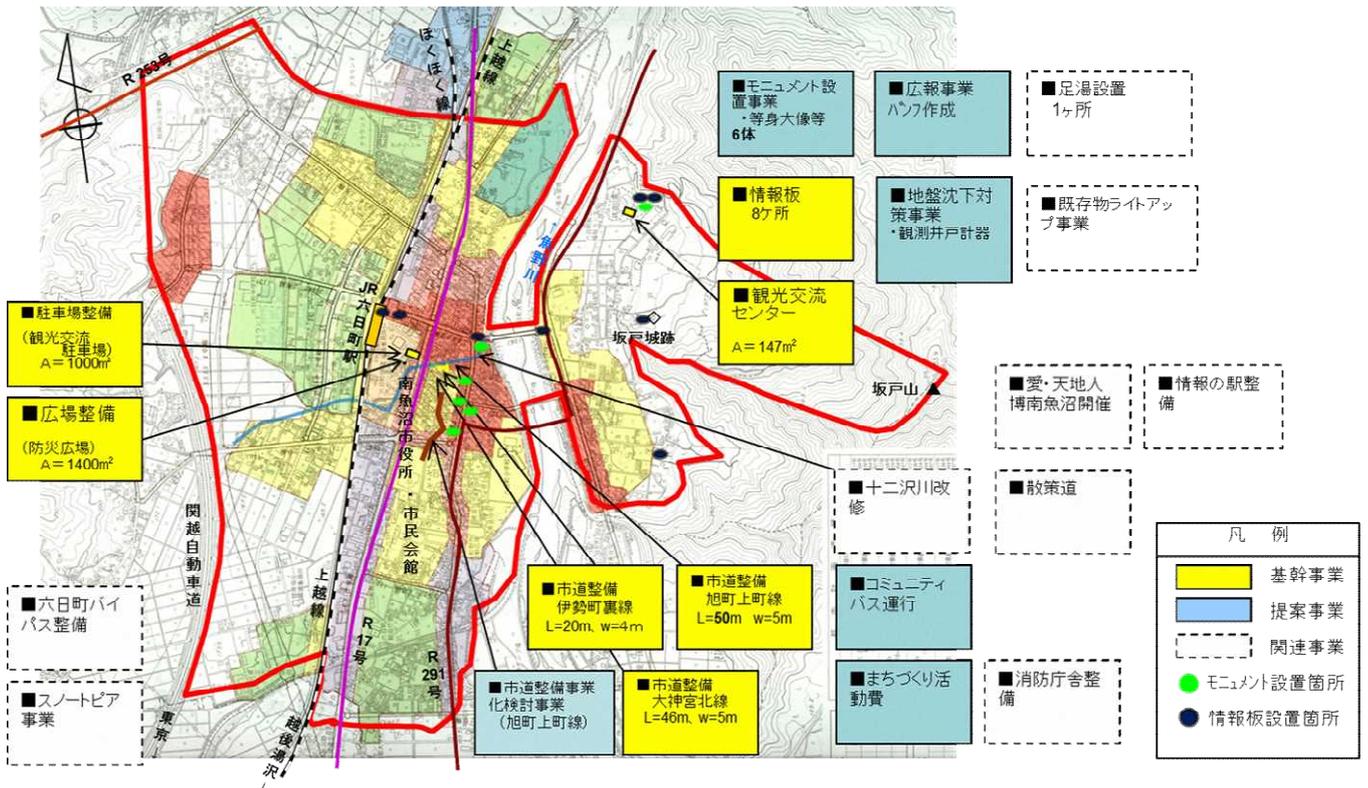
指標 整備後に地域外交流人口が増加し、中心市街地が活性化することと、安心・安全なまちづくりによる相乗効果で定住人口の減少を小幅に留める事が可能となることを目標とした。

定住人口	7,171人 (H18)	→	7,100人 (H24)
主要観光施設への来客者数	88,334人 (H18)	→	100,000人 (H24)
六日町駅の乗降客数	5,637人 (H17)	→	5,637人 (H24)

事業内容

基幹事業 (208.7百万円) → 道路 (3路線、延長116m)、防災広場 (1カ所 1,400㎡)、観光交流駐車場 (1カ所、1,000㎡)、情報板 (8箇所)、観光交流センター (1箇所)、

提案事業 (48.9百万円) → 地盤沈下対策事業、モニュメント設置事業 (立像6体)、市道整備事業化検討事業、広報事業 (パンフレット作成等)、まちづくり活動事業、コミュニティバス運行事業



地区の現況と課題

郊外型大型ショッピング・センターの進出により駅前中心市街地の商店街の衰退が著しい。国指定史跡坂戸城まで徒歩15分というロケーションにありながら、まちなかに歴史的に魅力のある景観に乏しい現状にある。そこで駅前中心市街地と史跡とを結び、観光客等が楽しみ散策できる施設整備と景観の美化が必要である。また、定住化をすすめるため雪に強い快適な都市づくりも推進しなければならない。

提案事業の特徴

モニュメント設置事業

街なかの周遊経路となる商店街に人気イラストレーターの原画制作によるモニュメントを設置し、地域の魅力を高めた。また、観光交流施設との相乗効果を目指し、地域のシンボルとして「天地人」放映を記念した喜平次・与六像を銭淵公園内に設置した。

広報事業（パンフレット作成）

地区の認知度を高めるため、また南魚沼市の魅力を、地元に住み地元を愛する普通の女の子が紹介するモデルとして参加してもらった新しいタイプのパンフレットを作成し、随所に配布しました。

地盤沈下地域対策事業

地下水利用と地盤沈下の因果関係を把握するために必要となる、観測井戸の観測計器及び観測小屋を設置し、地下水利用の節水と共存方法の検証を実施した。

計画策定プロセス

大河ドラマ「天地人」を契機としたまちづくり

2009年にNHK大河ドラマ「天地人」の放映が決定したことを受けて、官民共同による観光客の受入対策を図るための実行委員会が設立され、諸事業を協議検討した。



地元行政区長との勉強会

計画策定にあたって地元行政区長に本都市再生計画の概要についての説明会を実施しました。なお、今後も引き続き勉強会を実施し、議論を続けて行く。

天地人プロジェクト～愛プロジェクト～コンテンツツーリズムへ

地域の若者が連携して、「天地人」放映年の“愛・天地人博”を契機に、放映後の地域の持続的活性化に向けた諸事業を企画運営。2010年“戦国EXPO”、2011年“きりざいDE愛隊”（ご当地グルメ、県内初の愛Bリーグ加盟）及びコンテンツツーリズム学会（全国初組織化）へと発展し、今後も継続して展開される。



▲ コンテンツの活用した情報発信



▲ きりざいDE愛隊



▲ 喜平次・与六像（シンボル像）



▲ 兼続通りに設置されたモニュメント群



▲ 新感覚パンフレット（美女旅）



▲ 地下水観測機器の設置（地盤沈下対策）



▲ 直江兼続公生誕の地坂戸城址



▲ 観光交流センター「伝世館」